

JAPAN WEEKTM
Colmar



第49回 ジャパンウィーク[®] 2024年
フランス・コルマール
2024年11月12日 (火) ~ 11月17日 (日)
事業報告書



Explore
FranceTM



CENTRE
EUROPÉEN
D'ÉTUDES
JAPONAISES
D'ALSACE
CEEJA



KEIRIN



競輪の補助事業

この事業報告書は、競輪の補助を受けて制作しました。
<https://www.jka-cycle.jp/>



ご挨拶

本年度第49回ジャパンウィークはフランスの東、アルザス地方にあるコルマルにて開催を致しました。延べ6日間の開催で約18,000人のコルマル市民の方々にご来場を頂きました。

日本伝統芸能、文化の紹介を通して、コルマル市の皆様と草の根レベルの文化交流が出来たことは非常に感激深いものがあり、改めましてフランス・コルマル市における日本文化への関心の高さを実感致しました。第1回フィレンツェ・ジャパンウィークから今回のコルマル・ジャパンウィークまでつなぎ合わせて参りましたジャパンウィークも次回2025年イギリス・マンチェスター開催で50回目を迎える事が出来ます。これも一重に、ご参加頂きました皆様方一人一人の国際交流への思いが形となって表れた成果であると改めまして感謝申し上げます。

最後になりますが、ジャパンウィークの開催にあたり多大なご支援・ご協力を頂きました両国実行委員の皆様、コルマル市、CEEJAの皆様方、在ストラスブール日本国総領事館、並びに運営を支えて頂いております数多くのボランティアの皆様に対し重ねて厚く御礼を申し上げますと共に、今回のジャパンウィークを契機に益々両国間の国際交流、相互理解の促進の一助となれば幸いです。

イベント概要

開催地	フランス共和国・コルマル市
開催期間	2024年11月12日(火)～11月17日(日)6日間
開催規模	参加者390人 来場者17,800人(6日間合計)
主催	公益財団法人 国際親善協会
開催国側主催	フランス共和国・コルマル市
後援	アルザス日本研究センター(CEEJA)、在ストラスブール日本国総領事館、国土交通省、文部科学省、農林水産省、フランス観光開発機構、コルマル市観光局、日本政府観光局(JNTO)、独立行政法人国際交流基金、日本貿易振興機構(ジェトロ)、一般財団法人自治体国際化協会、一般財団法人地域伝統芸能活用センター、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社
助成	公益財団法人JKA、公益財団法人関西・大阪21世紀協会、公益財団法人 双日国際交流財団
協賛	日本航空株式会社、損害保険ジャパン株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社日本旅行、株式会社ミキ・ツーリスト、株式会社ブランドゥ・ジャパン

参加団体一覧

北海道	釧路市 北海道観光機構 日本旅行協定旅館ホテル連盟 北海道支部連合会	山梨県	マウントフジ ツーリズム
宮城県	ナガイ ヒロシ 日本旅行協定旅館ホテル連盟 東北支部連合会	長野県	日本旅行協定旅館ホテル連盟 長野支部連合会
茨城県	情熱の火星マーズ	岐阜県	くむんだー郡上 日本旅行協定旅館ホテル連盟 中部支部連合会
群馬県	草津温泉観光協会 日本旅行協定旅館ホテル連盟 関東支部連合会	愛知県	愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ かすが文化會 楽奏Touche 三ヶ根宣伝社
埼玉県	FUKI	三重県	伊勢型紙彫型画会 大杉華桜
千葉県	Classic Ballet Coppelia 陶貴の会 艶舞座～ENBUZA～	滋賀県	日本旅行協定旅館ホテル連盟 関西支部連合会
東京都	株式会社ARTERA Chanoyu Crossing Cultures KOTO Ensemble Trefle 池依 依依 剣伎衆 かむみ 小林 未都 一般社団法人日本ゴルフツーリズム推進協会 日本旅行協定旅館ホテル連盟 本部 日本旅行 万博推進室 プリそな系 株式会社リフト	大阪府	JR西日本グループ バーチャル大阪駅 踏匠嬢
神奈川県	Earth Rainbow 自作甲冑クラブしげ部 秦野八重桜協会	兵庫県	流通科学大学和太鼓部
新潟県	日本旅行協定旅館ホテル連盟 新潟支部連合会	広島県	江田島市観光協会
富山県	瀬尾学園総合カレッジSEO 松本音楽スクール	山口県	日本旅行協定旅館ホテル連盟 中国支部連合会
福井県	そばの花咲く福井県 福井おむすび同好会 日本旅行協定旅館ホテル連盟 北陸支部連合会	香川県	藤登会 日本旅行協定旅館ホテル連盟 四国支部連合会
		愛媛県	書道部「南風会」 邦楽アンサンブルSAKURA
		福岡県	九州観光機構 日本舞踊 裕志朗の会
		長崎県	日本旅行協定旅館ホテル連盟 九州支部連合会
		宮崎県	ひなたあん 石井琴月
		沖縄県	八重山古典音楽研究会 ルフルーブ 日本旅行協定旅館ホテル連盟 沖縄支部連合会
		フランス	日本航空 日本政府観光局 Association Shogi d'Alsace CEEJA

合計63団体

実行委員会

日本側	
実行委員長	鶴保庸介 参議院議員／公益財団法人 国際親善協会 会長
名誉顧問	内田浩行 在ストラスブール日本国総領事館 総領事
理事	西澤敬二 損害保険ジャパン株式会社 顧問／公益財団法人 国際親善協会 理事
理事	坂井辰史 株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問／公益財団法人 国際親善協会 理事
理事	西原口香織 日本航空株式会社 執行役員／公益財団法人 国際親善協会 理事
理事	小谷野悦光 株式会社日本旅行 代表取締役社長／公益財団法人 国際親善協会 理事
親善大使	大崎 洋 一般社団法人 mother ha.ha 代表理事／公益財団法人 国際親善協会 国際交流親善大使
事務局長	石崎浩之 公益財団法人 国際親善協会 常務理事

(順不同)

フランス側	
実行委員長	Eric Straumann (エリック・シュトルマン) コルマル市 市長
理事	Odile Uhrich-Mallet (オディール・ユルリッヒ＝マレ) コルマル市 副市長
理事	Pascal Sal (パスカル・サラ) コルマル市助役 商工業・公有地利用管理担当
理事	Michel Spitz (ミッシェル・スピッツ) コルマル市助役 文化芸術遺産担当
理事	Eric Loesch (エリック・ロッシュ) コルマル市議会議員 観光担当
理事	Catherine Trautmann (カトリーヌ・トロットマン) 元フランス共和国文化・通信大臣／アルザス欧州日本学研究所 (CEEJA) 所長
理事	Virginie Fermaud (ヴィルジニー・フェルモー) アルザス欧州日本学研究所 (CEEJA) ディレクター

1. ジャパンウィーク運営組織について

ジャパンウィーク2024年フランス・コルマルは日本・フランス両国に各々実行委員会を組織し、日本側は鶴保庸介公益財団法人国際親善協会会長が実行委員長を務め、フランス側はエリック・シュトルマン・コルマル市長を実行委員長とし、両国事務局互いの協力のもと開催会場の選定やPR活動・各種イベントなどを協議してきました。開催会場については各プログラムの主旨をコルマル市に理解いただき、市内中心部に各イベント会場を用意いただいた。

1年以上にわたる日々の情報交換、3回の現地での打ち合わせ等長期の折衝を経て開催準備を進めてきた。施設の宗教的な規制による舞台公演会場の変更はあったが、計画とおり開催を迎える事が出来た。また、今回の開催が2回目となる観光物産商談会についても、在フランス日本国大使館や日本政府観光局のご協力で無事に開催することが出来た。

日本側では参加団体とのプログラムに関しての打合せ、荷物の輸送方法、公式行事や訪問交流先の調整など数多くの業務をこなしてきた。また、コルマル市側では各参加団体が日本と同様に公演・展示が出来るように多くのボランティアの募集や各種許可の承認、取得にご尽力をいただいた。



2. 公式行事と各プログラム

公式行事は11月13日11:45より市中心部のカトリックにてオープニングフェスティバルを開催した。また、コルマル市が日本の参加者を歓迎するウェルカムレセプションを聖マタイ教会にて同日14:30から、また場所を移動して17:00からカクテルレセプションをカトリックにて開催した。

各プログラムについては商談会が11月12日にパリ・ノボテルパリトゥールエッフェル、展示が12日から17日までコイフィスとカトリックの2会場、茶道実演が12日と14日にコイフィス、舞台公演が12日と14日から17日までサークルサンマルタンにてそれぞれ開催した。訪問交流プログラムについては、学校は5団体、老人活動施設は5団体、ダンス教室には1団体が参加し、各団体ともに心のこもった草の根交流となった。



3. 在ストラズブル日本国総領事館とアルザス日本研究センターのご尽力

今回のジャパンウィークが成功裏に終了する事が出来たのはひとえにコルマル市及び関係各所との調整にご尽力を頂いた内田在ストラズブル日本国総領事をはじめとした領事館の皆様とアルザス日本研究センターのVirginie Fermaudディレクターをはじめとした研究センター皆様のご協力による賜物です。

また、今回もコルマル市在住の日本人の皆様、日本語学習者や日本文化に興味のあるコルマルの皆様等延べ100人以上の方々ボランティアとして参加いただき、朝早くから夜遅くまで各会場にて運営スタッフの一員として協力いただいた。中にはジャパンウィークの主旨に賛同しパリから参加していただいた方もいました。ボランティアからもイベント後に「すごく楽しませて頂きボランティアとして参加できて本当に良かった」とのお言葉もいただいた。ボランティアの皆様協力無くして、ジャパンウィークは実現できなかったと言っても過言ではありません。





4. スタッフおよびご協力をいただいた方々

フランスでのジャパンウィーク開催が決定してからイベントが終了するまで、以下の方々に実務上のきめこまやかな打ち合わせと準備で大変ご協力いただき、今回のジャパンウィークの成功へと導いていただいた。

コルマル市
Mr. Jerome Boitelet
アルザス日本文化研究センター
Dr. Virginie Feraud
Mr. Aurélien Anthony
Ms. Cylia Nafa

コーディネーター
三浦幸子
宮川圭一郎
アドバイザー
渡邊実



5. 広報・告知について

1. メディアでのプロモーション

- ①コルマル市運営のWebサイトで特設ページを作成してジャパンウィークをPR
- ②コルマル市運営のFacebook、InstagramによるジャパンウィークPR
- ③フランスJapanExpoのWebサイトでジャパンウィークの特集ページ掲載とニュースレターの配信
- ④在ストラスブール日本国総領事、アルザス日本文化センターのFacebookでのジャパンウィークPR

2. 開催期間中のメディア掲載

開催期間中に各種メディアでジャパンウィークが連日取り上げられた。

- ・新聞Les Dernières Nouvelles d'Alsace、L'Alsaceでの掲載
- ・各種インターネットニュースサイト

3. コルマル市内でのプロモーション

- ・コルマル市各世帯に配布する広報誌でのジャパンウィークの特集記事の掲載
- ・コルマル市内50カ所に10月17日から10月31日間、ジャパンウィークのPR看板を掲出
- ・コルマル市内35カ所に10月31日から11月21日までの間、ジャパンウィークのPR看板を掲出



オープニングフェスティバル

日時 2024年11月13日 (水)

12:00~13:25 パフォーマンス

13:25~13:50 セレモニー

場所 CATHERINETTES (カトリネット) 常設ステージ

観客数 382名 (300席+立見)

日本側 小谷野悦光 公益財団法人国際親善協会会長代理/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員長代理

内田浩行 在ストラスブール日本国総領事館 総領事/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員会名誉顧問

西澤敬二 損害保険ジャパン株式会社 顧問/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員会理事

西澤環 損害保険ジャパン株式会社 西澤敬二様令夫人/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員会

西原口香織 日本航空株式会社 執行役員/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員会理事

大崎洋 一般社団法人 mother ha.ha 代表理事/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員会親善大使

フランス側 Eric Straumann (エリック・シュトルマン) コルマール市長

Odile Uhrich-Mallet (オディール・ユルリッヒ=マレ) コルマール市副市長 (第一助役)

Pascal Sal (パスカール・サラ) コルマール市助役 (第二助役)

Christian meistemann (クリスチャン・マイスターマン) コルマール市市議会議員 (第四助役)

Nathalie plumier (ナタリー・プリュニエ) コルマール市市議会議員 (第五助役)

Frédérique Schwob (フレデリック・シュヴォブ) コルマール市市議会議員 (第七助役)

参加者 三ヶ根宣伝社、流通科学大学 和太鼓部、藤登会、

愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ、Classic Ballet Coppelia、

踏匠嬢、八重山古典音楽研究会、剣伎衆かむみ、釧路市 9団体



第49回ジャパンウィークのオープニングは1310年にコルマールに設立した修道院をコルマール市が再建、改造をした歴史あるホールでのパフォーマンスから始まった。

三ヶ根宣伝社の日本の文化的なストリートパフォーマンスである「ちんどん」が、誘客宣伝を務め、会場2階を練り歩き、目を引く衣装に写真撮影を希望するお客様も多くいた。始まるころには、準備した客席は満席となり、立見の来場者もいた。ここから最初のステージパフォーマンスであり、壮大にぎやか、若い力の和太鼓により観衆の注目を一気に集めた。三番手は藤登会が静の日本を象徴する、日本舞踊をしっかりと披露、観衆はうっとりしていた。四番手は愛知淑徳大学ウィンドオーケストラが、コルマールゆかりのジブリメドレーを披露。お客様も手拍子をしていった。五番手はClassic Ballet Coppelia、洋のクラシックバレエと和装をアレンジし、和の世界を表現した。観衆はそのきれいな和装にうっとりとしていた。六番手は踏匠嬢、沖縄民謡とタップダンスを融合した創作ダンスを披露し、お客様もステージに上げて、簡単な踊りを体験してもらい、ステージに上がったお客様も非常に喜んで盛り上がった。続いて八重山古典音楽研究会は沖縄の民謡を本格的に歌い上げ、前に出た陽の沖縄とずっしりとした伝統音楽のアンサンブルの構成となった。八番手は剣伎衆かむみ。圧倒的なパフォーマンス力で皆さんをステージに釘付けにした。九番手は釧路市から北海道アイヌのウポポイを披露。日本でも珍しい演目の雰囲気、会場から感嘆の声が漏れ盛り上がった。

続いて行われたセレモニーでは両国代表団の紹介の後、コルマール市長、内田在ストラスブール日本国総領事のスピーチ、そしてリボンカットが行われジャパンウィークの開会を華やかに宣言した。

ウェルカムレセプション

日時 11月13日 (水)

14:30~15:30 ウェルカムレセプション

17:00~18:00 カクテルレセプション

会場 ウェルカムレセプション Eglise protestante St-Matthieu 聖マタイ教会

カクテルレセプション CATHERINETTES カトリネット

参加団体 ウェルカムレセプション 39団体 (参加証書授与団体数) 222人
カクテルレセプション 330人

日本側 小谷野悦光 公益財団法人国際親善協会会長代理/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員長代理
内田浩行 在ストラスブール日本国総領事館 総領事/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員会名誉顧問
西澤敬二 損害保険ジャパン株式会社 顧問/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員会理事
西澤環 損害保険ジャパン株式会社 西澤敬二様令夫人/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員会
西原口香織 日本航空株式会社 執行役員/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員会理事
大崎洋 一般社団法人 mother ha.ha 代表理事/第49回ジャパンウィーク。2024年フランス・コルマール 日本側実行委員会親善大使

フランス側 Eric Straumann (エリック・シュトルマン) コルマール市長
Odile Uhrlich-Mallet (オディール・ユルリッヒ=マレ) コルマール市副市長 (第一助役)
Pascal Sal (パスカル・サラ) コルマール市助役 (第二助役)
Christian meistermann (クリスチャン・マイスターマン) コルマール市市議会議員 (第四助役)
Nathalie plumier (ナタリー・プリュニエ) コルマール市市議会議員 (第五助役)
Frédérique Schwob (フレデリック・シュヴオブ) コルマール市市議会議員 (第七助役)

出演者 楽奏Touche

オープニングフェスティバルに続いて1292年に身廊が建てられた歴史的建造物でアルザスでは最も美しいゴシック建築の1つとされており、コルマール市民に最も愛されている現役の教会でのウェルカムレセプションは、まさに「ようこそコルマール」へを体現する荘厳な雰囲気の中、実施された。レセプションには日本からご参加いただいた39団体と関係者をいれて222人を超える方々にコルマール市長、小谷野国際親善協会会長代理、内田浩行在ストラスブール日本国総領事から参加証書が手渡され、1団体毎に記念撮影を行った。

団体入場時には、荘厳な雰囲気の中、舞台出演者である楽奏Toucheの皆様の弦楽アンサンブルとコーラスの演奏をして、厳かな演出の中、受付を実施した。

また登壇者の登場も演奏に合わせて、中央通路から登場する演出も参加者を喜ばせた。

各展示、劇場公演グループごとに授与・撮影を行い、参加証書授与をしたところ、感極まって涙する参加者におり、ジャパンウィークに参加したという実感を得た。

最後の舞台グループへの授与・撮影が終了したのち、その皆様にはカクテルレセプション会場への誘導を行った。

式典では日本及びフランス・コルマール両国代表者の紹介に続き、コルマール市長からのウェルカムスピーチ、小谷野国際親善協会会長代理からのスピーチが行われ、最後に両国にて記念品の交換を行い、両国参加者からの温かい拍手に包まれてウェルカムレセプションは終了した。

その後、カクテルレセプションと展示会場でもあるカトリネットに移動し、コルマール市主催で用意いただきましたワインやカナッペ等を楽しみ、歓談のひとときを過ごした。また、コルマール市側からアルザス地方の民族衣装の紹介や、長期にわたりジャパンウィークに参加してくれている団体を対象に、表彰式も行われ、ジャパンウィークの幕開けとして楽しいひと時を過ごした。



舞台公演

日時 11月12日(火)、14日(木)~17日(日) 5日間

入場者数 1,200人

場所 サークルサンマルタン Cercle Catholique Saint-Martin

団体数 20団体

舞台公演はコルマル駅から徒歩10分弱のところにある「サークルサンマルタン」で実施。予定していた256席以上のお客様が来場され、立見や入場制限をかける日もあるほど人気の公演となった。

今年度は20団体がジャパンウィークの舞台公演を盛り上げた。

小さな子供からプロのアーティストまで、日本の伝統を伝える「和」のパフォーマンスや、人気のアニメソングを取り入れたパフォーマンスなど盛りだくさんの内容で観客を魅了した。

海外公演を経験したことのある団体や、ジャパンウィークリピーターの団体も多く、各団体、独自性のある演目で会場を沸かせていた。

「劔伎衆 かむゐ」のパフォーマンスでは観客を巻き込むサムライ体験コーナーがあり、演者と観客が一体となって楽しんでいる様子が印象的だった。ジブリ映画の曲や、日本のアニメソングの演奏では、リズムに乗ったり、口ずさむ観客も見られ、フランス人の日本のアニメ好きが伝わった。琴や三線、ムックリやトンコリ、和太鼓など日本の伝統楽器を使用した演奏を行う団体も多く、ヨーロッパでは聞くことのない珍しい音色に多くの観客が耳を澄ませていた。

バレエやコンテンポラリーダンス、タップダンス、日本舞踊など、ダンスを披露した団体は、日本の昔話を表現したり、和装で踊るなど、和と洋のコラボレーションを表現した。

プロのシンガーソングライター「小林 未都」の出演日は開演前から多くの観客で賑わっており、フランスでも人気の高さをうかがえた。

全5日間の公演で約1,200人の観客に来場いただき素晴らしい盛り上がりを見せ、コルマル市の皆様に日本のパフォーマンスの魅力を伝えることができた。



1日目

公演時間 11月12日(火) 19:00~20:50

参加者 ①楽奏Touche ②邦楽アンサンブルSAKURA

③愛知淑徳大学ウインドオーケストラ ④Classic Ballet Coppelia

初日にもかかわらず、入場開始前の17:30ごろから会場前に多くの観客が来ており、予定より30分早い18:00より入場を開始した。「楽奏Touche」の演奏に3歳の女の子が出演しており、となりのトトロのメイちゃんに扮して演奏するそのかわいらしさに、会場からたくさんの声援が飛んでいた。演奏が終わると大きな拍手が湧き、鳴り止まない拍手にアンコールの演奏も行われた。

「邦楽アンサンブルSAKURA」の演奏ではジブリ映画で使われている曲の演奏があり、その歌を口ずさむ観客もみられた。「愛知淑徳大学ウインドオーケストラ」の学生の演奏は初々しく、制服を着て演奏する姿に日本の学生の規律正しい様子が感じられた。「Classic Ballet Coppelia」の「鶴の恩返し」は日本語のナレーションであったにもかかわらず、その華麗なダンスに見入っている観客もみられた。ジブリ音楽やアニメソングはフランスでも馴染みがあるようで、音楽が始まると「知ってる!」という観客の様子が見られ海外でも非常に人気のコンテンツであると実感した。

3日目

公演時間 11月14日(木) 19:00~22:10

参加者 ①八重山古典音楽研究会 ②藤登会 ③総合カレッジSEO ④KOTO Ensemble Trefle ⑤釧路市 ⑥松本音楽スクール ⑦三ヶ根宣伝社

イベント3日目。開場時間よりも早く会場に到着する観客が多く、この日も予定より早い入場開始となった。進行もスムーズで、全体的に20分ほど早く進行が行われた。この日は「和」を感じさせる演目が多く、日本の伝統を音とパフォーマンスで魅せる1日となった。

「総合カレッジSEO」と「KOTO Ensemble Trefle」は琴を用いて人気のアニメソング「魂のルフラン」や「残酷な天使のテーゼ」、「ジブリメドレー」を演奏。「和」の楽器で演奏するアニメソングは、オリジナルとはまた違った印象で、琴の表現する「和」の音に多くの観客が魅了されていた。

「八重山古典音楽研究会」は沖縄民謡、三線の演奏。琉球音楽の独特な音階と三線の響きに聞き入る観客もみられた。「藤登会」は、白いサラシの布で、大変修練のいる技を用いた日本舞踊などを披露。

「釧路市」の演奏では「トンコリ」「ムックリ」というアイヌ民族の伝統的な楽器の演奏があり、初めて聞くその音色に惹きつけられる人も多く、迫力ある和太鼓の演奏に拍手が鳴りやまなかった。最後は「三ヶ根宣伝社」のパフォーマンスで、観客も一緒に踊る様子が見られ、大盛り上がりの中、3日目の舞台公演は終了した。

4日目

公演時間 11月15日（金） 19:00~22:10

参加者 ①日本舞踊 裕志朗の会 ②ナガイ ヒロシ ③剣伎衆 かむみ ④Earth Rainbow ⑤流通科学大学 和太鼓部 ⑥情熱の火星人マーズ ⑦踏匠嬢

イベント4日目。開始30分前には既に150名の来場者があり、開場後、298席ある座席はすぐに満席となった。「日本舞踊 裕志朗の会」は日本の伝統舞踊を披露。日本舞踊の表現の奥深さやゆったりとした動きに見入る観客が多くいた。「ナガイヒロシ」はギター演奏で日本の楽曲を披露。歌詞は日本語であったものの、日本語の歌がフランス人に非常に刺さっている様子が印象的だった。「剣伎衆 かむみ」のパフォーマンスでは、彼らの舞台を待ち望んでいた観客も多く、開始の「Kill Bill」の曲に合わせた演目で一気に観客の心をつかんだ。選ばれた観客が舞台にあがって立ち回りを体験する「サムライ体験コーナー」ではフランス人の男性が選ばれ、少し照れくさそうに舞台上がり、立ち回りを演じる姿に会場は大盛り上がり。礼で演目を閉めると拍手の嵐となった。

「Earth Rainbow」の自然を表現した流れるようなダンスパフォーマンスの世界観に魅了される人も多く、「流通科学大学 和太鼓部」の迫力ある太鼓の演奏と力強いパフォーマンスに涙を流している観客も見られた。「情熱の火星人マーズ」の独特な世界観と、流通科学大学の学生たちとのコラボレーションは好評で笑いとおどろきのある舞台となった。巫女のコスチュームで演じた「踏匠嬢」は華麗なタップダンスを披露。コミカルな演技にリズムのの観客も見られた。

イベント期間中、出演団体が最も多かったこの日、一番の盛り上がりを見せた。

5日目

公演時間 11月16日（土） 15:30~17:00

参加者 ①小林 未郁 ②艶舞座~ENBUZA~ ③剣伎衆 かむみ/小林 未郁

イベント5日目。週末の開催は集客を考え午後を実施。この日は人気のアニメソングを歌うシンガーソングライター「小林 未郁」が出演するということもあり、開始前には満席となった。増席したものの立見を含め会場の人数制限を超える程の客数となり入場制限を行った。

「小林 未郁」の演奏はピアノ弾き語りで、インパクトのある演奏に観客は一瞬で釘付けになっていた。動画を撮影する観客も多く、世界で活躍する「小林 未郁」の人気の高さを目の当たりにした。

「艶舞座~ENBUZA~」の華麗なダンスパフォーマンスは和フュージョンダンスという「和」のテイストを取り入れたダンスで、観客はすぐに魅了されていた。最後の「剣伎衆 かむみ」と「小林 未郁」のコラボレーションは、大人数の立ち回りや、アカペラの歌など盛りだくさんの内容で、最高の盛り上がりを見せた。



6日目

公演時間 11月17日（日） 15:30~17:00

参加者 ①Classic Ballet Coppelia ②剣伎衆 かむみ ③小林 未郁

イベント最終日。この日も開演前から満席となり、入場をお断りするほどの来場者数となった。「Classic Ballet Coppelia」の演じる「鶴の恩返し」では、日本の昔話をダンスで表現したパフォーマンスで、大人も子供も興味を示していた。「剣伎衆 かむみ」のパフォーマンスは、連日と同じく大きな盛り上がりを見せ、他の日の公演で見逃した人も見に来ているようだった。「小林 未郁」のパフォーマンスでは、アニメの服を着て見に来ている人も多くみられ、日本アニメ作品だけでなく、そのテーマソングや歌手も海外で人気があることを実感した。アニメソングを歌ったときには会場のボルテージは最高潮となり、歌を口ずさむ人も見られた。



| 楽奏Touche |



| 邦楽アンサンブルSAKURA |



| 愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ |



| Classic Ballet Coppelia |



| 八重山古典音楽研究会 |



| 藤登会 |



| 総合カレッジSEO |



| KOTO Ensemble Trefle |



| 釧路市 |



| 松本音楽スクール |



| 三ヶ根宣伝社 |



| 日本舞踊 裕志朗の会 |



| ナガイヒロシ |



| 剣伎衆 かむみ |



| Earth Rainbow |



| 流通科学大学 和太鼓部 |



| 情熱の火星人 マーズ |



| 踏匠嬢 |



| 小林未郁 |



| 艶舞座~ENBUZA~ |



展示・実演

日 時 11月12日(火)~17日(日) 6日間

場 所 コイフィス/カトリネット

観客総数 15,440人

団 体 数 30団体(展示:15団体/自治体:15団体)

展示・実演はコルマル旧市街にある歴史的な建物の「コイフィス(Koifhus)」と「カトリネット(Catherinettes)」で実施した。観光地の中心部での実施ということもあり、開場後から多くの来場者で賑わいを見せた。

今年度の展示・実演の出展団体は全部で30団体。ジャパンウィークのリピーターから新規参加の団体までが出展した。

展示内容はバラエティに富んでおり、書道やいけばな、彫型画など「日本の伝統文化」を伝える団体のほか、日本の「食」を伝えるおむすびや日本酒、桜茶の試飲を実施する団体、さらに体験型の甲冑や袴の着付け体験など、行列のできるブースが多く見られた。

自治体による日本の観光地のPRブースも充実しており、日本観光を計画している来場者の興味を引いた。

中でもワークショップや体験アクティビティのブースは人気であり、参加待ちの行列ができる様子も見られた。自治体が配布したパンフレット等も、最終日にはほぼ完配となっており、大盛況の中で6日間の幕を閉じた。



株式会社ARTERA

今回は9人の作家様より全12作品を出展いただいた。作品はすべて原画であり、個性あふれるものが多く、日本人作家が描く繊細な美しさに、多くの来場者が足を止めて見入っている様子が見られた。作品は展示会場「コイフィス」の入り口となるホールに設置されており、毎日多くの来場者が作品を鑑賞する様子が見られた。



池依 依依

「希望と奇跡の輝き」という作品を1点出展いただいた。作品の力強さに立ち止まって鑑賞する来場者が多く、写真を撮影する方も見られた。来場者を引き付ける作品の魅力にフランス人の芸術への関心の高さを感じた。



伊勢型紙彫型画会 大杉華桜

今回のジャパンウィークのために、コルマル市長を題材とした彫形画の作品を制作するなど、非常に意欲的に「彫形画」の普及に努めている様子が見られた。伝統工芸である「彫形画」は多くの来場者の関心を集め、ブースには多くの人だかりができていた。同年3月にもコルマル市にて展示会を実施しており、今回、再びコルマルにて「大杉華桜」の作品を見られることを楽しみにしている来場者もいた。



江田島市観光協会

「広島」や「せとうちエリア」はフランスでも認知があり、江田島市のデスクには、この地域の詳しい話を聞きに来る来場者でいつも賑わっていた。また、「SEA SPICA」に興味を持っている方も多く見られた。アクセスについての質問も多く、主要空港からのルートや、その周辺の観光地を交えて紹介している様子が見られた。



九州観光機構

九州地方のパンフレットを通じて、九州地方の観光地の魅力をコルマルの人々に伝えることができた。「九州」という地名の認知はあるようで、出展団体に準備いただいたパンフレットは会期半ばで完配した。九州地方は自然の観光資源も豊富にあり、自然に囲まれたアルザス地方の方々にとっても親和性の高い地域であると感じた。



くむんだ一郡上

日本から実際に木材を輸送し、本物の木材を使用してジャングルジムを組み立てるワークショップを実施した。ワークショップでは実際に組み立てる作業体験を行い、子どもだけでなく大人も楽しみながら参加する様子が見られた。フランス人ボランティアの中には日本の建築技術に詳しいスタッフがあり、ブースを訪れた来場者に進んで説明していた。



釧路市

釧路市には展示だけでなく舞台公演にもご出演いただき、今年度のジャパンウィークを盛り上げていただいた。展示では富貴紙やアイヌ織物、昆布について紹介いただき、釧路市の魅力が十分に伝わる展示となった。実演には多くの人だかりができており、来場者はアイヌ独特の文化に高い関心を寄せていた。



草津温泉観光協会

コロナ明けからフランス人の宿泊者が増加している草津温泉。温泉街で浴衣を着る体験などへの憧れもあり、温泉の人気の高まっている中で、「温泉」コンテンツへの興味関心が高く、また、アルザス地方にも「温泉」があるようで、現地の方々との親和性の高さも感じた。配布したパンフレットもイベント終了時にはほぼ完配していた。



一般社団法人ゴルフツーリズム推進協会

ゴルフツーリズム推進協会のブースではゴルフを通じた地域観光をパンフレットで紹介。コルマルを含めヨーロッパの方々にはゴルフへの関心が高いからか、パンフレットを手にする方が多かった。アルザス地方を含むフランス北東部は質の高いゴルフコースが多いようで、今回のジャパンウィークを通して、質を求めるフランスのゴルフ好きに向けて日本のゴルフツーリズムの魅力を紹介することができた。



自作甲冑クラブしげ部

プラスチックの甲冑の着付け体験を実施。めったに体験できない甲冑着付け体験は非常に人気で、子どもから大人まで楽しんで参加していた。甲冑を来たまま屋外に出て写真を撮るとたちまち人だかりができ、話題を呼んだ。「自作甲冑クラブしげ部」はコルマルでの出展の前にイタリアの別イベントにも出展しており、イタリアでも大盛況だったようで、ヨーロッパの人々にとって甲冑着付けは非常に興味深い体験であることがわかった。



JR西日本グループ

「大阪・関西万博」を目前に、現地までの交通手段や知名度の高い大阪・京都を含む関西エリアの観光地、また、北陸エリアの観光地やグルメなどの魅力をパンフレットとともに紹介した。中でも和歌山の情報やカニに興味を持っている方が多く、これらのパンフレットを手にする来場者も多かった。海に面していないコルマルではシーフードは珍しく、日本に行ったら海鮮を食べたいという声も聞くことができた。



松山大学書道部「南風会」

書道作品の展示のほか、来場者の好きな漢字を書くなどのアクティビティを実施。ブースは連日、多くの人で賑わっており、毎日参加している来場者や、出展者の大学生3人がお昼休みから戻るのを待っている参加者も見られた。

「漢字」はローマ字圏の方には新鮮に映るようで、非常に興味関心の高い日本文化であることがわかった。



そばの花咲く福井県

「そばの花咲く福井県」のブースでは、テレビモニターで福井県の動画を流しており、動画の内容に興味を持つ方が多く、映像を最後まで視聴している来場者も多かった。映像ということもあり、大人だけでなく子どもも興味を示しており、小学生の団体もみんなが立ち止まって映像を視聴し、「きれい」「行ってみたい」などの声も聞こえた。



陶貴の会

日本の焼き物や陶器はヨーロッパでも人気の高い工芸品であり、「陶貴の会」のブースでは連日、来場者で賑わっていた。実際に製作体験ができるということで、大人の方を中心に楽しみながら参加している様子が見られた。さらに製作した陶器は持ち帰ることができるため、「明日も参加したい」という声を多く聞いた。



日本政府観光局

日本政府観光局のフランスパリ事務所が出展。パリでは訪日イベントが盛んに実施されているが、今回はフランスの地方都市での実施ということもあり、日本への興味関心がどれくらいのものか未知数であった。しかし、約3万部用意したパンフレットも最終日には9割近くなくなっており、コルマールでも日本への関心の高さがうかがえた。



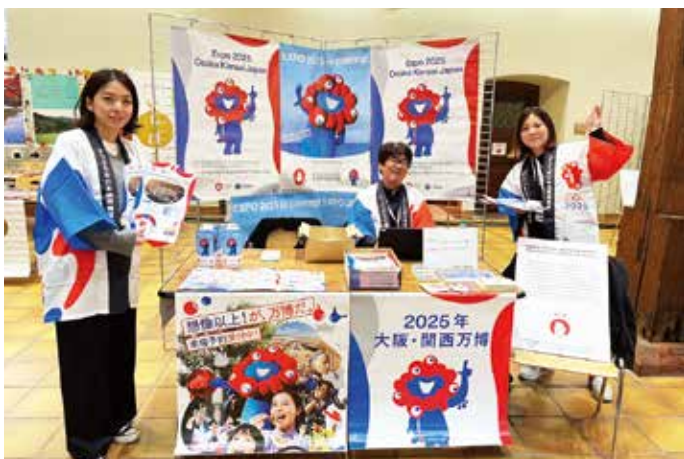
日本航空

日本との直行便が毎日就航する日本航空。ブースでは、70周年の記念展示に加え、おりがみで飛行機を作って飛ばす「おりがみ飛行機」のアクティビティが実施された。「おりがみ飛行機」は子どもに大人気であり、おりがみでの紙飛行機作りに夢中になっていた。また、アルザス出身のイラストレーターJean氏もブースに立ち、自身が描く日本のイラストとともに日本航空のPRを行った。



日本旅行 万博推進室

間近に迫る「大阪・関西万博」の魅力をコルマールの人々に紹介。今年7月には公式キャラクターのミャクミャクもフランスを訪問しており、フランスでも認知が高まっている中、今回のジャパンウィークではミャクミャクが描かれた公式グッズの配布が行われ、高い関心を得ていた。



日本旅行協定旅館ホテル連盟

日本旅行と販売契約のある日本全国のホテルを紹介。沖縄のリゾートホテルや温泉旅館など、さまざまなタイプの宿泊施設のパンフレットを配布し、来場者へPRした。来場者の中にはパンフレットをみて「このホテル、泊ったことがある」という方もおり、日本観光への興味の高さを実感できた。



秦野八重桜協会

海外では鑑賞するものとして人気の高い桜であるが、「秦野八重桜協会」のブースでは今回、「八重桜」を用いた「桜湯」の試飲を実施。桜は見るだけでなく「食する」こともできるということをPRできた。協会の方々が和服でブースに立っていたのも印象的であり、来場者が秦野市について積極的に質問している様子が見られた。



バーチャル大阪駅

「バーチャル大阪駅」の特設エリアの中に期間限定で、Japan Weekとのコラボレーションイベントを開設。特設エリアでは漢字をヒントにした宝探し形式の体験を実施し、来場者には実際に最先端の日本文化に触れていただくことができた。アニメ人気が高いフランスでは、最近VTuberも徐々に人気になっており、日本のメタバース文化も広がりを見せている中で、今回の施策はよいPRとなった。



ひなたあん 石井琴月

漢字の原型となる「古代文字アート」作品を複数展示。ニューヨークやパリ、ドバイでも活動している「ひなたあん石井琴月」は、今回のジャパンウィークでも積極的に来場者へ「古代文字アート」の魅力を発信していた。参加者の名前をひらがなや漢字で書いて差し上げるというワークショップを実施し、自身の名前を日本語で表現できるという新鮮さに、毎日ブースに行列ができていた。



FUKI

いけばなを通じて「算命」を伝えるワークショップを実施。現地で調達した花々を使用して作り上げる作品はまさにフランスと日本のコラボレーションであり、いけばなで表現された繊細な日本の作品にワークショップの参加者も深い関心を示していた。コルマル市内はクリスマスシーズンということで、現地の花屋では華やかな印象の花が多く見られたが、「FUKI」の生けた花々は、また違った印象となり、文化の違いが伝わるアクティビティであった。



福井おむすび同好会

福井県から「いちほまれ」を持参し、実際に現地でおむすびを作って試食を振舞った。海外のおにぎりブームもあり、試食は一瞬でなくなるほどの人気であった。昆布やへしこなど、日本ならではの具材にも興味を示す来場者が多くいた。無形文化遺産に認定された日本食は海外の方々にも受け入れられる文化であり、今後も世界に広めるべき重要な文化であると感じた。



プリそなゑ

袴スタイルの和装体験を実施。和装スタイルは着物とは異なり、コルマルの方々にとっても新鮮な体験であったようで、連日、多くの体験希望者で行列ができていた。特に子どもにも人気であり、着付けの後は携帯で写真撮影をし、SNSに投稿する様子が見られた。「着物」の着付け体験が人気であるが、最近は日本のアニメのキャラクターが袴を着ている作品もよく見られるため、アニメブームにも相まって、今後は「袴着付け体験」も人気が出るのではないかと感じた。



北海道観光機構

コルマルにはスキー場があり、スノーアクティビティが身近にあるため、北海道の観光アクティビティについても興味を示す方が多くいた。北海道は四季ごとに異なる楽しみ方があるのも特徴であり、中でもラベンダーについて書かれたチラシに興味を示す方が多かった。



マウントフジ ツーリズム

「マウントフジツーリズム」のブースでは富士山や富士五湖の観光資源の紹介だけでなく、着物や甲冑の着付け体験も行い、毎日多くの来場者で賑わっていた。富士山の認知は高い一方で、まだ知られていない周辺の観光地も多く、今回の「マウントフジツーリズム」の出展を通してコルマルの方々に周辺の観光地についても知ってもらうことができた。



株式会社リフト

日本国内外で活躍しているアーティストから全54点の作品を展示。普段、目にするのできない日本のアーティストによるさまざまな作品を鑑賞していただき、日本アートの素晴らしさを楽しんでいただいた。作品を間近に鑑賞することができ、来場者からボランティアスタッフへ質問を受ける様子も見られた。



ルフルーヴ

特許を取得した真空ボトルで北海道の日本酒の試飲や、北海道の物産PRを実施。アルザス地方はワインが有名であるが、近年ブームとなっている日本酒に興味を示す方も多く、飲み比べをする方もいた。配布したヴィーガンインスタントラーメンはフランスですでに販売されており、北海道の人気をうかがうことができた。



Association Shogi d'Alsace

11月16日、17日の週末に出展した。現地コルマルから出展であり、「将棋」の普及と実践を行っており、コルマルでも関心の高い「将棋」であるが、今回のジャパンウィークでも多くの参加者が将棋で対戦していた。海外で日本の文化を普及している団体との連携は、今後のジャパンウィーク実施においても非常に重要な存在であると感じた。



アルザス日本研究センター(CEEJA)

ヨーロッパと日本をつなぐネットワークの中心的機関として、ブースでも「CEEJA」で行っている日本の研究、特に日本のアニメとのかかわりを紹介していた。2027年には日・アルザス交流160周年記念事業の一環として「ヨーロッパマンガアニメミュージアム」の開館が予定されており、そのプレイベントとして開催された「かわぐちかいじ-過去と現在の対話」展についても紹介されていた。



茶道実演

日時 11月12日 (火)・11月14日 (木) 2日間

場所 コイフィス

入場者数 203名

団体数 2団体

茶道は、かつて旧税関だったルネサンス様式の美しい建物のコイフィスで11月12日(火)と11月14日(木)の2日間行われた。先着順のため、オープン前から参加希望者の行列が出来ていた。所作の一つ一つを真剣に見ており、お抹茶と茶菓子等を体験した来場者は、日本の文化に触れ、満足そうだった。2日間どの回も立見が出るほどの大盛況ぶりで行われた日本の文化に対する関心の高さがうかがえた。



Chanoyu Crossing Cultures

11月12日 (火)

一回15席、全4回のお点前披露と抹茶体験を行った。先生の説明中に参加者がメモを取っている姿など見られた。3回目には子供たちが3グループに分かれ、慣れない正座をしながら見学していたため、崩すよう促すも日本の文化に合わせて我慢して真剣にお点前を見る子もいた。また、希望者数人にはお茶を点ていただく体験もあり、すぐ決まってしまう程の盛況ぶりだった。改めて日本の文化に興味を持っていることを実感した。



かすが文化會

11月14日 (木)

一回18席、全5回のお点前披露と抹茶体験を行った。着物着付け体験(先着4名)があり、どの回も並んでいた最初の4人で決まってしまった。先生の提案で3回目以降は、着物を着た4名は畳の上で抹茶を体験することになったため、当初の座席数よりも多くの方が立見ではなく抹茶体験ができ、満足していた。また終了後には様々な質問が出たり、記念撮影をしたりと日本の伝統文化に関心を持っている方が多いことに驚いた。



交流プログラム

訪問交流プログラムの学校訪問については5団体、老人ホーム訪問については5団体、ダンス教室については1団体が参加し、各団体ともに心がふれあう交流を行った。

学校 Ecole Waltz / 学校 Ecole Brant

日時 11月14日 9:00~11:00 / 14:00~15:00

参加団体 流通科学大学和太鼓部

参加者 生徒 約75名

和太鼓の演奏の後、ワークショップを実施した。コルマル市に小学校2校から訪問して欲しいとの要望があり、参加者のご厚意により2校での実施となった。両校で行ったワークショップでは日本フランス両国の参加者が大いに楽しんだ。また、休憩中や終了後も一緒に遊んだり交流が行われていた。



学校 Ecole Jean Mace

日時 11月14日 14:30~15:30

参加団体 踏匠嬢

参加者 生徒 26名

参加者の見事な踊りと素敵な衣装、楽しい日本の音楽に生徒や先生も大喜びだった。踊りを披露する前の準備時間に、生徒から日本や日本語についての質問がたくさんあり、いかにみんなが日本に興味をもっているのかが良く伝わってきた交流となった。最後は、みんな一緒に「ありがとう」と日本語でお礼を言ってくれ、予定時間を大幅に過ぎるまで楽しんだ。



学校 Ecole Saint Nicolas

日時 11月14日 8:30~11:20

参加団体 KOTO Ensemble Trefle

参加者 生徒 約60名

3回に分けて、3学年の年齢の違う生徒との交流でしたが、皆初めて見る琴に興味津々で琴の演奏と体験をととても楽しんでた。質疑応答の際は、高学年になると琴とは関係ない、日本そのものについての質問なども多くありましたが、参加者が丁寧に答えていた。



老人ホーム Centre Départemental de Repos et de Soin

日時 11月14日 14:30~16:00

参加団体 ミケ根宣伝社、情熱の火星人マーズ、ナガイ ヒロシ

参加者 施設利用者 約80人

3団体が訪問をし、各団体がそれぞれのパフォーマンスを通じて日本文化の紹介を行いながら交流を図った。施設からは皆大変楽しんだと今回の訪問に感謝していた。



学校 Ecole Wickram

日時 11月15日 9:00~11:30

参加団体 Chanoyu Crossing Cultures

参加者 生徒 約80名

茶道の説明の後、着物(浴衣、はっぴ)を着る体験、折り紙、日本語を書く体験と、3つのワークショップを行った。生徒にとっては、見る、聞くだけではなく、初めて体験することに興味がある様で、皆とても楽しんでた。参加者の着物姿にも興味があり、どうやって着るのか、何分かかるのかなどの質問も多くあり、皆、日本そのものにとても興味を持っていた。



学校 Ecole Pfister

日時 11/15 9:30~11:30

参加団体 くむんだー郡上

参加者 生徒 17名

木製のジャングルジムを制作するワークショップを生徒は最後まで集中しながら楽しんだ。学校からは聞いて見て触って体験できる素晴らしい活動とのことだった。なによりも参加者の熱意が生徒にも伝わっているのが感じられた。



老人ホーム EHPAD notre dame des Apôtres

日時 11月15日 14:30~16:00

参加団体 FUKI、艶舞座~ENBUZA~

参加者 施設利用者 20人

2団体が訪問をし、各団体がそれぞれのデモンストラーションを通じて日本文化の紹介を行いながら交流を図った。艶舞座~ENBUZA~がリボンを投げるシーンでは皆びっくりした様子で大変楽しんでた。FUKIのテーマは少し難解ではあったが多くの方に楽しんでもらえていた。



ダンス教室 MJC Danse classique

日時 11月16日 9:30~10:30

参加団体 Classic Ballet Coppelia

参加者 教室の生徒 32人とそのご両親

着物を着て華やかな日本舞踊でうっとりし、次にコミカルなおかめとひよっとこの踊りで笑いが起こり、クラシックダンスの「ロシアの踊り」で軽快なタップで楽しみ、最後に皆が知っている「白鳥の湖」で終わった。その後、4つのグループに分かれて、参加者と一緒に踊り、交流を楽しんだ。その後の質疑応答では和やかな雰囲気質問が飛び交っていた。



観光物産商談会

1. 開催実施概要

名称 第49回ジャパンウィーク2024年フランス・コルマル 商談会 in パリ

日程 2024年11月12日（火）13:00～19:00

会場 Novotel Paris Centre Tour Eiffel

61 quai de Grenelle, 75015 Paris France

セミナー Tage+Loire

観光商談会 JW: Rhin+Volga+Douro+Amazone

TCVB: Nil+Gange

観光PRブース Espace Marbre

物産商談会 Tamise

カクテルレセプション Foyer Seine & Espace Marbre

商談テーマ 【観光】地域の魅力、宿泊施設の魅力をPRし、訪日団体旅行の誘客促進

【物産】現地輸入業者、関連業者に特産物を輸出してフランスへの輸出促進

参加者

日本側参加団体 合計 37団体/57名

【観光】自治体、日本の旅館ホテル、観光関連団体等 JW 21団体/42名、TCVB 6団体/6名

【観光PR】観光関連企業、大阪万博関連、自治体 JW 3団体/6名、

TCVB 1団体/3名

【物産】自治体 3団体/7名

フランス側参加団体 合計 31団体/36名

【観光】旅行会社、ツアーオペレーター等 22団体/27名

【物産】輸入販売業者、卸業者、レストラン、スーパー・土産店、関連雑誌等 9団体/9名

共催 本商談会は、公益財団法人東京観光財団（TCVB）との共催にて開催した。

2. 開催プログラム

観光商談会 実施項目		物産商談会 実施項目	
11:00	日本側セラー集合・受付（受付後、商談準備）		
11:15～11:40	日本側セラーブリーフィング（JNTOパリ事務所所長永井初芽氏によるプレゼンテーション）		
12:30～13:00	フランス側バイヤー受付		
13:00～13:05	【主催者挨拶】 公益財団法人 国際親善協会会長代理 / 株式会社日本旅行 代表取締役社長 小谷野悦光氏		
13:05～13:35	公益財団法人 国際親善協会 会長・参議院議員 鶴保庸介氏からのビデオレター プレゼンテーション【2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のご紹介】 公益財団法人 国際親善協会 国際交流親善大使 / 大阪・関西万博催事検討会議 共同座長 一般社団法人 mother ha.ha 代表理事大崎洋氏		
13:35～13:50	プレゼンテーション 東京観光レップ（フランス） / サラ・マルカデ氏		
13:50～13:55	司会より商談についての説明		
【観光商談会】		【物産商談会】	
13:55～14:15	第1枠マッチング商談（旅行会社）	13:55～14:25	第1枠マッチング商談（物産業者）
14:15～14:20	移動	14:25～14:30	移動
14:20～14:40	第2枠マッチング商談（旅行会社）	14:30～15:00	第2枠マッチング商談（物産業者）
14:40～14:45	移動	15:00～15:05	移動
14:45～15:05	第3枠マッチング商談（旅行会社）	15:05～15:35	第3枠マッチング商談（物産業者）
15:05～15:10	移動	15:35～15:40	移動
15:10～15:30	第4枠マッチング商談（旅行会社）	15:40～16:10	第4枠マッチング商談（物産業者）
15:30～15:35	移動	16:10～16:15	移動
15:35～15:55	第5枠マッチング商談（旅行会社）	16:15～17:25	フリー商談
15:55～16:00	移動		
16:00～16:20	第6枠マッチング商談（旅行会社）		
16:20～16:25	移動		
16:25～17:25	フリー商談		
17:25～17:35	閉会挨拶・移動		
17:35～19:00	カクテルレセプション		

3. 運営について

実施内容

- ・使用会場の広さを考慮し、同フロアで会場を分けて実施した。
- ・セラー向けブリーフィングにおいて、JNTOパリ事務所 永井初芽所長から、『フランス市場の最新動向』と題してプレゼンテーションを実施していただいた。
- ・バイヤー向けセミナーでは、国際親善協会 会長代理 小谷野悦光氏による主催者挨拶の実施、公務により急遽欠席となった国際親善協会 会長 鶴保庸介氏からのビデオレターの披露、国際親善協会 国際交流親善大使 大崎洋氏による大阪・関西万博に関するプレゼンテーションの実施、更に、共催者である東京観光財団 (TCVB) Sarah Marcadé氏による東京プロモーションに関するプレゼンテーションを実施した。
- ・商談会は、セラーを固定席とし、観光商談は1枠20分のアポイントメント商談を6枠、物産商談は1枠30分のアポイントメント商談を4枠実施した。アポイントメント商談終了後は、1時間程度のフリー商談を実施し、名刺交換や商談をしていないセラー・バイヤーとの商談機会を創出した。
- ・会場外のホワイエで、PRブースを設置し、4団体によるプロモーションを実施した。
- ・商談会実施中は、コーヒー、紅茶、水およびクッキー等の提供を行った。
- ・商談会終了後にカクテルレセプションを行った。カクテルレセプションは自由席とし、セラー・バイヤーが積極的に交流をしていた。
- ・カクテルレセプションの冒頭には参加者を代表して北海道観光機構の専務理事の中村智氏、共催の東京観光財団の担当課長の今井完氏よりご挨拶をいただき、その後フランス日本国大使館の西森美佳経済参事官に乾杯のご挨拶をいただいた。
- ・カクテルレセプションの最後にはセラーよりご提供をいただいた景品の抽選会を実施した。

会場の様子

- ・バイヤーの団体数が、セラーの団体数より少ない状態であったため、複数名で参加していただいているバイヤーには分かれて商談に参加していただいた。
- ・商談はほとんどのテーブルが商談を実施しており、盛況であったが、当日欠席のバイヤーが数社あり、セラーから欠席したバイヤーと是非商談したかったという声もあった。



4. 商談先一覧

【観光商談 21団体／42名】

No.	日本側参加者	セッション1	セッション2	セッション3	セッション4	セッション5	セッション6	商談数
1	北海道観光機構	ARTS ET VIE 3	ASIA 1	Amplitudes	CFA VOYAGES 1	Tribu d'explorateurs 1	Comptoir des Voyages	6
2	草津温泉観光協会	ASIA 1	PANGAEA VOYAGES (Golf)	ARTS ET VIE 1	CFA VOYAGES 2	Tribu d'explorateurs 2	Destination Japon	6
3	マウントフジツーリズム	Amplitudes	CFA VOYAGES 1	PANGAEA VOYAGES (Golf)	Comptoir des Voyages	SHANTI TRAVEL	ARTS ET VIE 1	6
4	JR西日本グループ	CFA VOYAGES 1	Intermèdes	ARTS ET VIE 2	Destination Japon	Amplitudes	Private Golf Key	6
5	江田島市観光協会	CFA VOYAGES 2	Comptoir des Voyages	ARTS ET VIE 3	PANGAEA VOYAGES (Golf)	Marco Vasco	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 2	6
6	九州観光機構	Destination Japon	CFA VOYAGES 2	ASIA 1	Amplitudes	PANGAEA VOYAGES (Golf)	H.I.S. International Tours France 1	6
7	日本旅行協定旅館ホテル連盟 北海道支部連合会	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 1	JTB Europe 1	Japan Experience	ARTS ET VIE 1	LES MAISONS DU VOYAGE	H.I.S. International Tours France 2	6
8	日本旅行協定旅館ホテル連盟 東北支部連合会・新潟支部連合会	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 2	JTB Europe 2	CFA VOYAGES 1	ARTS ET VIE 2	JALPAK INTERNATIONAL (FRANCE) SAS	Intermèdes	6
9	日本旅行協定旅館ホテル連盟 長野支部連合会	NostalAsie	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 1	CFA VOYAGES 2	ARTS ET VIE 3	JTB Europe 1	JALPAK INTERNATIONAL (FRANCE) SAS	6
10	日本旅行協定旅館ホテル連盟 関東支部連合会・中部支部連合会	SHANTI TRAVEL	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 2	NostalAsie	ASIA 1	JTB Europe 2	ARTS ET VIE 2	6
11	日本旅行協定旅館ホテル連盟 中部支部連合会	Intermèdes	SHANTI TRAVEL	Destination Japon	Les Voyages d'Emeline	CFA VOYAGES 2	Nomade Aventure	6
12	日本旅行協定旅館ホテル連盟 北陸支部連合会	JALPAK INTERNATIONAL (FRANCE) SAS	ARTS ET VIE 2	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 1	Nomade Aventure	Japan Experience	CFA VOYAGES 1	6
13	日本旅行協定旅館ホテル連盟 関西支部連合会	Japan Experience	JALPAK INTERNATIONAL (FRANCE) SAS	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 2	Tribu d'explorateurs 1	ARTS ET VIE 3	CFA VOYAGES 2	6
14	日本旅行協定旅館ホテル連盟 中国支部連合会・四国支部連合会	JTB Europe 1	LES MAISONS DU VOYAGE	H.I.S. International Tours France 1	JALPAK INTERNATIONAL (FRANCE) SAS	ARTS ET VIE 2	Japan Experience	6
15	日本旅行協定旅館ホテル連盟 四国支部連合会	ARTS ET VIE 2	Les Voyages d'Emeline	Nomade Aventure	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 2	Intermèdes	JTB Europe 1	6
16	日本旅行協定旅館ホテル連盟 九州支部連合会・九州支部連合会	Tribu d'explorateurs 2	Marco Vasco	JALPAK INTERNATIONAL (FRANCE) SAS	NostalAsie	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 1	JTB Europe 2	6
17	日本旅行協定旅館ホテル連盟 九州支部連合会	LES MAISONS DU VOYAGE	KUONI GTS France SAS (JTB Europe)	SHANTI TRAVEL	Tribu d'explorateurs 2	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 2	NostalAsie	6
18	日本旅行協定旅館ホテル連盟 沖縄支部連合会	JTB Europe 2	Nomade Aventure	Tribu d'explorateurs 1	SHANTI TRAVEL	H.I.S. International Tours France 1	EXOTIC VOYAGES // LA ROUTE DU JAPON 1	6
19	沖縄観光コンベンションビューロー	Marco Vasco	NostalAsie	Tribu d'explorateurs 2	JTB Europe 1	H.I.S. International Tours France 2	LES MAISONS DU VOYAGE	6
20	日本旅行協定旅館ホテル連盟 沖縄支部連合会	Nomade Aventure	ARTS ET VIE 1	JTB Europe 2	LES MAISONS DU VOYAGE	Comptoir des Voyages	Marco Vasco	6
21	日本ゴルフツーリズム推進協会	PANGAEA VOYAGES (Golf)	ARTS ET VIE 3	H.I.S. International Tours France 2	JTB Europe 2	Private Golf Key	ASIA 1	6
合計商談数								126

【物産商談 3団体／7名】

No.	日本側参加者	セッション1	セッション2	セッション3	セッション4	商談数
A	北海道観光機構	Irrashai	We want to sake	OVNI	LX France	4
B	釧路市	Kinase	LX France	UMAMI	Jinchan Food	4
C	秦野八重桜協会	UMAMI	Irrashai	Kinase	Sushi magazine	4
合計商談数						12

【商談PRブース 3団体／6名】 ※PRのみ

No.	日本側参加者
28	日本航空
29	パ〖チャル大阪駅
30	日本旅行 万博推進室

プレゼンテーション



小谷野悦光氏



大崎洋氏



永井初芽氏

観光商談会



北海道観光機構



草津温泉観光協会



マウントフジ ツーリズム



JR西日本グループ



江田島市観光協会



九州観光機構



日本旅行協定旅館ホテル連盟
北海道支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
東北支部連合会・新潟支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
長野支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
関東支部連合会・中部支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
中部支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
北陸支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
関西支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
中国支部連合会・四国支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
四国支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
四国支部連合会・九州支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
九州支部連合会



日本旅行協定旅館ホテル連盟
沖縄支部連合会



沖縄観光コンベンションビューロー



日本旅行協定旅館ホテル連盟
沖縄支部連合会



日本ゴルフツーリズム推進協会

物産商談会



北海道観光機構



釧路市



秦野八重桜協会

商談PRブース



日本航空



バーチャル大阪駅



日本旅行 万博推進室

東京観光財団 (TCVB)



街頭広告

- ・日本地図に参加自治体を配した共同広告をコルマール市内35カ所に10月31日から11月21日までの間に掲出
- ・各自治体の個別のポスターは、コルマール市の劇場、博物館、図書館、体育館等の施設13カ所に11月7日から11月18日までの間に掲出



共同広告



北海道観光機構



釧路市



草津温泉観光協会



秦野八重桜協会



マウントフジ ツーリズム



JR西日本グループ



江田島市観光協会



九州観光機構

編集後記

ジャパンウィーク開催にあたり、在ストラスブール日本国総領事館、コルマール市、CEEJA、多くの現地関係者の皆様に趣旨をご理解いただき、ご尽力を賜りました事、厚く御礼申し上げます。

また準備・運営に於いては現地コーディネーター、多くのボランティアの皆様の惜みないご協力に対して深く感謝申し上げます。

今回は2回目の取組と致しましてパリにて自治体様向け商談会のプログラムを実施いたしました、日本より24団体様、そして共催とさせて頂きましたTCVB様の7団体様を併せ、合計31団体様のご参加を頂きましたこと併せまして感謝を申し上げます。

最後に特別協賛を賜りましたスポンサー各社、コルマール市開催誘致よりご尽力を頂きました方々にも深く感謝申し上げ、本イベントが多くの皆様に支えられ無事開催出来ました事、全ての関係者の皆様に主催者として重ねて厚く御礼申し上げます。

次回はよいよ50回記念大会イギリス・マンチェスターです、新旧がコラボレーションした美しい街、マンチェスターの地でまたお会いしましょう。



助 成



主 催



公益財団法人 国際親善協会

〒112-0003 東京都文京区春日2-10-15志知ビル4階
TEL : 03-5802-0351 FAX : 03-5802-0353

E-mail info@iffjapan.or.jp

URL <https://www.iffjapan.or.jp>